

ハマ街ビト

横浜には、独自のサービスや技術の強みを生かした魅力的な企業、団体が数多く存在しています。ここでは、ビジネスや活動を通じて地域を盛り上げ、新たな挑戦に挑む“ヒト”に注目！ 夢を実現するための取り組みや、その中で抱いた想いなどをお届けするインタビュー記事です。

認定特定非営利活動法人こまちぷらす

店内に一歩足を踏み入れると、木のぬくもりにあふれた明るく開放感のある空間が広がります。そこはカフェでありながら、まるで誰かの家に招かれたような心地よさがありました。「子育てを、まちでプラスに。」を合言葉に、子育てが「まちの力」で豊かになる社会を目指して活動している「認定特定非営利活動法人こまちぷらす」。この「こまちカフェ」も、その取り組みの一つです。「日々の暮らしの中で困っていることに対し、できること(人)が組み合わせると、新しい“何か”が生まれます。地域の中で埋もれたニーズや、皆さんの声をカタチにしたい！」と話す代表の森 祐美子(もり・ゆみこ)さんに、「こまちぷらす」発足のきっかけや、さまざまな取り組みなどについてお聞きしました。

comachi plus

～生活者の“生の声”を聴き、
企業へつなぐ～

自らの想いがカタチになった 「地域こそだてカレンダー」

2012 年に発足した「こまちぷらす」。きっかけとなったのは、森さんが子育てを通じて感じた、ある“想い”です。「出産後は幸せな気持ちでいっぱいでしたが、周囲に知り合いがいない中での子育てで、社会からの隔絶感や孤独感も味わいました。そんな初めての感情に、何かを見つけようとインターネットで検索するも、何のキーワードを入れたら良いか分からない。イベントに参加しようと探しても、出てきたのは遠方のものばかり。そのときに、『いろんな人や情報と出会える居場所を作りたい』『家から出られないときにも欲しい情報を確実に見つけられるようにしたい』という想いが強くなりました」と森さん。

やがて地域活動に参加するようになると、いくつもの大きな出会いが訪れます。その中で、「悩んでいるのは自分だけじゃない」「一人で頑張らなくてもいい」などの気付きもあり、子育てが楽しくなっていくそうです。そこで森さんが考えたのは、これらの出会いを待つのではなく、仕組みとして作ること。その一つとして、2012 年「こまちカフェ」が誕生！ それぞれの想いや願いを共有し、一緒に出口を見つけるコミュニケーションの場となりました。

カフェとともに始めたのが、自身も欲しいと感じた必要な情報を得るためのツール作り。なんと、月 300 件もの情報をボランティアスタッフが入力し、データベース化が実現します。それこそが、「こまちぷらす」のホームページで日々更新されている「地域こそだてカレンダー」です。戸塚近郊の子育てイベント情報が掲載され、キーワード検索も可能。「適切な情報を届けたい」という森さんの想いがカタチとなり、「こまちぷらす」の大事な事業の柱となりました。

イクメンパパ × 企業のタッグで誕生！ 「おむつ自動販売機」

「カフェは、イノベーションの場。毎日いろいろな声が集まります！」と楽しそうに話す森さん。「こまちぷらす」発足から数年後、そんな生活者の“生の声”と、企業をつなぐ新たな展開が始まりました。2017 年に開発された日本初(※)の「おむつ自動販売機」もその一つ。「ワークショップを開催したとき、ある子育て中のお父さんから『子どもと出



「こまちぷらす」代表 森 祐美子さん